

(別紙様式)

【事業区分：経営力向上・高付加価値化】

かあちゃん 'S

○グループの紹介（簡単に）

かあちゃん 'Sとは、一関市大東町で子育て真っ最中から介護中のお母さんたちが、農業を通じて知り合い、意気投合した仲間の集まりです。

このお母さん達にはそれぞれ得意分野があり、それをもっと色々な人たちにも「伝えたい」「広めたい」「共有したい」と思い、ひとりでは無理でもたくさん集まればできるかもとプラス思考で結成したグループです。

○人 数 6人（うち女性6人）

○経営区分 農業6名

○事業目的

地域資源等を活かした加工品の製作および地域住民とのコミュニケーションの場の設置により、楽しく地域活性化を目指します。



○事業実施実績

実施内容（具体的な内容・方法）	時 期	場 所	備考
1 商品開発 ① 先進地研修（花巻市東和町） 小山田美女会、たかすどう産土農産加工、さうすりばああい豆千代	1 ①8月1日	花巻市東和町	参加 3人
② 新商品開発研修（ブルーベリー加工品） 「しあわせポン（ブルーベリー味ポン菓子）」の試作研修実施（3回）	②10月15日、11月20日、 12月20日	会員所有加工工房（ばあの畑）	4人
2 マルシェを通じた商品 PR の検討 商品 PR グッズの検討・作成（看板、商品ラベル） PR グッズ活用	2 10-11月随時 マルシェ (8月3日、9月8日) イベント出展 (8月15,31日、10月19-20日、 11月23日)	産直どんと	5人
		盆踊り、夏祭り、 一関市農業祭、 東山産直収穫祭	4人

○活動の成果

1 商品開発

① 先進地研修（花巻市東和町）

グループで農産物加工に取り組んでいる先進事例を訪問し、長く続けられるコツや取り組み内容などの聞き取り、実際の工房の見学、活動体験等を行いながら研修したことで、自分たちの活動を発展させるヒントを得ました。

② 新商品開発研修（ブルーベリー加工品）

グループ員で栽培するブルーベリーを活用した新商品の開発のため、農業普及員を講師にブルーベリーの色やゼラチンの性質について学びながら「しあわせポン（ブルーベリー味ポン菓子）」の試作研修を実施しました。

初回はブルーベリーの色と味（酸味）を変えて試作し、イベント等でアンケートを実施しました。2回目は、アンケート結果をもとに色と味を3種類程度に絞り、再度アンケートを実施、3回目は最終的なレシピとパッケージを決め、実際の商品の設計を検討しました。

2 マルシェを通じた商品 PR の検討

10月以降、デザインや設置場所などを検討し、イベントの開催場所をお知らせする看板を2基作成しました。

作製した看板や昨年作成したPRグッズは、マルシェ等の実施の際にグループ活動をPRするために活用しました。来店した方に感想を聞いて設置場所や案内内容を工夫しました。

（活動状況）

1-①先進地研修



上：「小山田美女会」さんの廃油の手作り石鹼づくりを体験させていただきました。

左：「小山田美女会」のみなさんと昼食を囲んで情報交換をしました。



下：「たかすどう産土農産加工」さんでは、地域の味と活動の場所を末永く続けるための取組をご紹介いただきました。



上：「さうすりばああい豆千代」代表菊池麻子さんにこだわりの麴製品をご紹介いただきました。

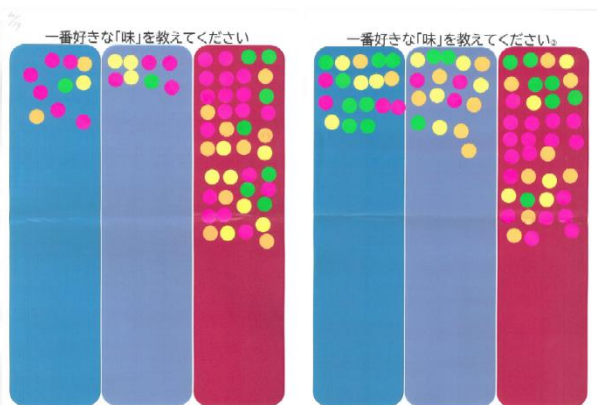


上3枚：通り道にある産直にも立ち寄り、東和町ならではの農産物や加工品の品揃えを確認できました。

-②新商品開発（ブルーベリーぽん菓子）



1回目：クエン酸と重曹を使ってブルーベリーの色調と味を変化させました。



シールアンケート：
上の左から1番目（濃ピンク）の味が一番好まれました。
一関農業祭で実施）



上：2回目：ブルーベリーだけでグラデーションにしてみました。



上：3回目：にんじん、かぼちゃ、紫イモなどを使ってカラーバリエーションを増やしてみました。

2 マルシェを通じた商品 PR の検討

- ・ 商品 PR グッズの検討・作成 10-11 月随時
- ・ イベント出店 8/15, 8/31, 10/19-20, 11/23



左：PR グッズを使っのイベント出店（一関市農業祭）

左下：夏祭りマルシェ（産直どんと）

下中：マルシェ 8/3, 9/8（産直どんと）

右下：盆踊りに出展（沖田地区）



○ 次年度に向けて

- ・ かあちゃん‘S の活動 PR 継続（新商品、マルシェ等）
- ・ 地元ならではの新規素材や伝承料理の探索（リンゴ、雑穀、伝統料理等）
- ・ 仲間づくり（新しい特技を持った新メンバー勧誘など）